



動動

平成26年 12月1日発行

第65号

北海道ムーブメント教育研究会会報

本年、8月に開きました夏季講習会の様子を報告いたします。今回も冬季に引き続き北区の札幌市立新琴似小学校で行われました。『音楽でコミュニケーション：簡単・おもしろい・みんな笑顔の鑑賞&音楽づくり』というテーマで体育館にて開催した講習会。広い体育館の中で歩いたり、リコーダー演奏をしたり……。実際に体を動かしての演習に、会場の参加者の方々も児童の気持ちになって授業を受けているように音楽と一体になったひとときを過ごされていたようでした。

演習1 『ハンガリー舞曲第5番』の鑑賞は、紙コップとボールにおまかせ

講師 高倉 弘光先生 (筑波大学附属小学校教諭)

“「体を動かす活動」を取り入れること”を常に意識して授業実践をされている高倉先生。演習はいつも参加者の方々の笑顔でいっぱいです。子どもたちの気持ちになって、歩いたり、手を動かしたりして音楽と一体になります。今回は、紙コップとボールを使い鑑賞曲のもつ音楽の要素を実感させる内容を取り入れた演習でしたが、今まで実感したことのない「ハンガリー舞曲」の鑑賞の仕方に、思わず夢中になって速度、強弱、仕組みなどを学んでいた私たちでした。



演習1 アンケートから

- ・鑑賞させる時に活動を取り入れることで、子どもの聴く意欲がこれほど高まるのに驚きました。これなら音楽が苦手な子どもでも目的意識をもって聴けると思いました。
- ・とても楽しかったです。鑑賞というと座って書く、というイメージだったので、子どもと一緒に楽しみたいと思いました。
- ・まったく新しい授業で驚きました。自分では考えもつかない方法なので、教えていただけて良かったです。



演習2 「ピアノが苦手でもできる！音楽作り」の授業のアイデア

～打楽器で、リコーダーで、鍵盤ハーモニカで

講師 平野 次郎先生 (筑波大学附属小学校教諭)

冬の演習に引き続き、授業のアイデアをたくさんいただきました。「子どもたちの素直な表現、発想、考え、反応、そして学ぶ意欲」にこそ授業のエキスがちりばめられているといつも話されている平野先生の主張がよく伝わる演習でした。また、ピアノに限らず、日頃の音楽で身近に使われているリコーダーなどでも簡単に音楽作りができることを実感させられました。『即興演奏では条件設定がカギとなる』と言われる先生の条件設定(拍子、リズム、合図などなど)に、授業の柱があると感じたひとときでした。

演習2 アンケートから

- ・まちがいを「何をしても良いんだよ」というメッセージを送りながら、子どもたちの自由と安心を保証して下さる先生のレスポンス、私もできるようになりたいです。
- ・「子どもに自由に音楽表現させること」音楽教育にあたりとても大切なことですね。教え込みの授業、ただ歌わせる授業ではなく、創造を主とした授業を心がけていきたいと思えます。
- ・打楽器、けんハ、リコーダーで音楽作りをしてみて、私自身も楽しかったです。旋律やリズムを子どもたちと一緒に作ってみたいです。

茗荷谷の風景 その22

「しあわせ運べるように」

研究部 高倉弘光

夏休みに神戸に行ってきた。3年ほど前からお声がけいただいていたのだが、なかなか日程が合わずに実現しなかった。神戸といえば、昨年度全日音研の全国大会の開催地である。残念ながら、やはり日程が合わずに全国大会にも参加することができなかったが、素晴らしい成果を挙げられたとあちこちから聞こえていた。

さて神戸では、一日日程でワークショップを担当させていただいた。午前、午後とも2時間半ずつびっちりやるというから、そのやる気に驚いた。私も気合いを入れて前日から神戸に入った。事務局の先生方との夕食会にも参加した。その会には10人くらいの先生方がいらしていた。一人一人自己紹介することになった。ある一人の男性の先生の段になった。その隣に座っていた女性の先生が「この先生が有名な『しあわせ運べるように』を作曲なさった臼井（うすい）先生です」と紹介してくださった。「???」…恥ずかしいことに、私はその曲も臼井先生のことも存じ上げなかった。

神戸といえば、20年前に起きた阪神淡路大震災で大きな被害のあったところだ。小学生も、その家族たちも、たくさんの方が命を落とされた。臼井先生は、激しい失望感の中でふと頭に浮かんだ（いや降臨したとご本人が言っていた）歌を15分で紙にメモしたという。それが「しあわせ運べるように」なのだそう。無知というのは恐ろしいもので、私はその場で大恥をかいたとともに神戸の方々に失礼をしてしまった。その歌は、神戸市民は皆知っているし、その後あちこちで起きた大きな被災地で歌い継がれているそう。しかも数カ国語に訳されて、歌は海をわたっているとのこと。それでも臼井先生は「いやいや、知らなくて当然ですよ」とニコニコしておっしゃってくださいました。柔らかい物腰と物言いの臼井先生は、震災当時の街の悲惨な様子、人々の様子、どんなに悲しかったか、虚しかったか、苦しかったかを夜景を見ながらお話してくださいました。胸を打たれた。

翌朝、私はあの歌のことが気になっていつもより早く目が覚めた。そう、ネットで調べてみよう。You tubeにたくさん出ていた。東日本大震災の被災地で歌われている画像もあった。シンプルで覚えやすいメロディ、胸に迫る歌詞…。ベッドの中でパソコンを見ていたのだが、涙が溢れ出てきた。私は次の瞬間、必死になってその曲をメモし始めた。メロディ、歌詞、伴奏を耳でできる限り忠実にコピーした。

昼間のワークショップは順調に進んだ。私は、参加されている160名の先生方と「しあわせ運べるように」を一緒に歌いたいと心のどこかで思っていた。でも、歌ったら絶対に泣いてしまう…。

午後のワークショップの休憩が終わって、いよいよ最後の時間に入ったその時だった。やっぱりみんなで歌いたい…、私はメモした紙を見ながらその曲の前奏をピアノでまったく予告なく弾き始めた。と、その瞬間、160名の先生方が一斉に起立して朗々と歌い始めたのではないか…。もちろん私は涙を堪えるのに必死だった。研究会の会長先生は大きな体をした男性だったが、白いタオルを顔に当て周りの目も気にせず号泣していた…。忘れられない神戸の一日となった。（たかくら・ひろみつ 筑波大学附属小学校）

北海道ムーブメント教育研究会

平成26年度・事務局体制

会長	大坂 克之（あいの里大藤幼稚園長）	会計担当	西 祐子
事務局（総務）	亀山 比佐（札幌市立札幌緑小学校）		三上 恵（奈井江町立奈井江小学校）
事務局（会計）	竹内 倫子（札幌ゆたか幼稚園）		齋藤貴代美（北海道札幌盲学校）
事務局（研究）	細貝 睦（札幌市立光陽小学校）	広報担当	西 宏（札幌市立太平南小学校）
研究担当	高倉 弘光（筑波大学附属小学校）		織田 暁知（札幌市立資生館小学校）
	畠山 美砂（札幌市立伏見小学校）		上埜 光規（札幌市立光陽小学校）
	田尾 明子（札幌市立新琴似南小学校）	会計監査	竹浪 恵（札幌市立新琴似北小学校）
	齋藤 恭子（札幌市立幌東小学校）		本間 達志（札幌市立篠路小学校長）
	石田 晃大（札幌市立もみじの丘小学校）	常任顧問	塚本 宏美
	新田 貴博（札幌協働福祉会第4むう）		堀田 吉宏（北海道教育大学札幌校非常勤講師、 札幌市立伏見中学校）
	青野 由香利（北海道今金高等養護学校）		

音楽ムーブメントって？

北翔大学 伏見千悦子

私の好きな瞬間。それは、ランドセルを背負った子どもが歩きながらリコーダーを吹いているとき。講義の後にぞろぞろと教室を出ていく学生の後ろ姿から、さっき歌ったばかりの音楽が鼻歌になって聞こえるとき。園庭で雪玉を作っていた3歳児が、突然「ゆーきやこんこ、あられやこんこ」と歌い出した姿を見たとき。音楽が彼らのからだに沁み込んで、心地よさとともに無意識に表出しているのだ、と頬が緩む。この時、彼らは音楽に支配されたり、支配しようとしたりしているだろうか。

保育者養成に携わる私の講義には音楽と、動くための空間が必要だ。昨日は、初めて1年生のオムニバス講義を担当した。内容は、幼稚園や保育所で行われている音楽遊びである。季節の歌を歌ったり、ピアノが奏でる音楽とともに動いたり、じゃんけんしたり…。写真を比べても、3歳児と大学生に違いがないように見える。「音楽が聞こえてきたら身も心も夢中になって、友達と一緒に動いていたら何だか楽しくなっちゃった」らしい。もちろん使用したのは軽快でうきうきするような明るい曲が多かった。自己表現が苦手な学生が「初めは恥ずかしかったけれど、音楽に合わせて動いたら、普段話すことのない人とも楽しく遊べた」と言う。



音楽は私たちの心を掴み、励まし、導き、寄り添い、癒してきた。なかでも幼児の生活は音楽と共にあるといっても過言ではない。朝は、おはようの歌で元気に始まる。お昼には「お弁当、嬉しいな」と食事の楽しさを表現し、手を洗って準備が整ったら、よく噛んで食べましょうと教訓まで含まれる。帰りには、一日を振り返って「楽しかったね。また遊ぼうね」と明日への期待が込められる。歌うだけでなく、身振り手振りが伴うことが多いのも幼児の表現活動の特徴である。「子どもの意思伝達の方法は、言葉だけでなく声や身振りなど、からだ全体から発するものである」と谷川俊太郎が述べているが、からだ全体を使った表現活動は自然で無理のない方法といえる。音楽のさまざまな特性を遊びと学びに繋げるムーブメントを教育・保育の現場で活かして欲しいと切に願う。





体を動かしながら、楽しく鑑賞！

音楽によく出てくる「繰り返し（反復）」。子どもたちと一緒に、よく繰り返される旋律に簡単な振り付けをつけて、聴きます。それによって、旋律の繰り返しを意識することや、再現されたとき（3部形式やロンド形式のときなど）の気付きにつなげることができます！

例えば、「おもちゃのへいたい」では…

- ① 自由に体を動かしながら、提示部を聴く。
- ② よく出てくる旋律に、みんなで振り付けをつける。
- ③ 振り付けをしながら聴く。



わあ！本当に何回も出てくるね！

- ④ 展開部と再現部も聴く。

全然出てこないところもあるよ！



また出てきたよ！

あれ！

最後は、途中で切れちゃったよ！

※「おもちゃのへいたい」では、再現部で、繰り返されてきた旋律が途中で切れてしまうことも実感できます！

- ⑤ コーダの部分は、自由に体を動かしながら、楽しんで聴く。

繰り返しのメロディーが途中で切れて、「タラララン」って音が下がっていった！音楽を聴くのって楽しいな！

平成26年度 冬期講習会開催要項

1. テーマ 「トーンチャイムであそぼう！トーンチャイムでつくろう！だれでも指導できる！どの子どもでも楽しめる音楽づくり」
2. 日時 平成27年1月8日（木）9:00～受付開始 9:30～開会式
3. 場所 札幌市立新琴似小学校
001-0907 札幌市北区新琴似7条3丁目2-1 TEL：011-761-3178
（JR学園都市線「新琴似駅」より徒歩10分、地下鉄南北線「麻生駅」より15分）
4. 日程

9:00～ 9:25	9:25～ 9:30	9:30～12:15 (途中休憩あり)	12:15～ 12:30	12:30～12:45
受付	開会式	演習 講師：高倉弘光先生 (筑波大学附属小学校・教諭)	音楽づくり なんでも Q&A	閉会行事等

※動きやすい上靴をご持参ください。

5. 主催者 北海道ムーブメント教育研究会
事務局 札幌市立札幌緑小学校内（亀山） 007-0813 東区東苗穂 13条4丁目 9-30
6. 後援 札幌市教育委員会（予定）
7. 参加費 一般 3000円、会員・学生 2000円
8. 申込み [電話かFAXで] 札幌市立札幌緑小学校 亀山比佐まで(12月24締切)
TEL 011-792-2480 FAX 011-792-4179